

# 香南かわら版



## ●はじめて中止になった「土佐赤岡絵金祭り」

幻想的な世界観を演出する「土佐赤岡絵金祭り」。

今年は7月18日(土)と19日(日)に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。2日間のお祭りすべてが中止となるのは44年の歴史の中ではじめてのこと。地域住民や関係者たちは行き場のない悔しさを抱えています。

## 土佐赤岡

# 絵金祭り

## ●「土佐赤岡絵金祭り」とは？

毎年7月の第3土曜日・日曜日の夕刻から開催される「土佐赤岡絵金祭り」では、地元有志の団体・土佐絵金歌舞伎伝承会による歌舞伎公演や落語会、ビアガーデンなどの様々な催しに加え、香南市赤岡町の商店街に本物の芝居絵屏風が展示されます。

また、7月14日・15日には、絵金祭りの元となった須留田八幡宮の神祭が行われ、蠟燭の灯りで芝居屏風絵がほのかに浮かび上がる、幕末時さながらの幻想的な光景を見ることが出来ます。



夜もふけると蠟燭の灯りが幻想的な雰囲気を出します



土佐絵金歌舞伎



本物の芝居絵屏風が商店街に並べられます

## ●異端絵師・絵金

絵金(1812~1876)は、町絵師・弘瀬金蔵は、高知城下の髪結いの子として生まれながらに優れた画才に恵まれ、修行ののち、狩野派絵師として土佐藩家老の御用絵師となりました。その後、贋作事件に巻き込まれ、お城下を出ることになったとされますが、放浪の末、おばがいた香南市赤岡町を拠点とし、町絵師として類稀なる才能を開花させました。

作品の特徴は、妖しいおどろおどろしさ。極彩色の芝居絵屏風や絵馬提灯、数えきれないほどの白描画を描き残しました。



## ●「支援をお願いします！」

「土佐赤岡絵金祭り」の中止が決まったのは、絵金を題材にした小説の出版や芝居絵屏風が全国巡回展へ出展されるなど、少しずつ注目を浴びる機会が増えていたタイミング。絵金の魅力を多くの人たちに伝える機会を得た矢先のことです。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、商店街の人通りは減り、苦しい局面にある今、絵金文化のためにはできることはないか、そんな気持ちから応援特集ページを開設しました！

新型コロナに負けるな！  
「絵金」の町・赤岡町応援特集！



絵金文化を全国へ広める情報発信の拠点「絵金蔵」の学芸員 福原 明理さん

## 子どもたちが考えた 香南市オリジナル食パン！

## ほんわか香る【酒粕食パン】

子どもたちの発案と熱意に、地元の老舗酒蔵「高木酒造」と、人気パン屋「母屋」が賛同してできた、コラボ商品です！



ほんわか香る酒粕食パン  
2本セット(4斤分)  
A-311 8,000円

食パンの愛称も子どもたちが命名。その名のとおり、「ほんわか」酒粕の上品な香りが感じられ、外はサクッと、中はモチツツとした触感が特徴。子どもたちの思いと、それを支えた大人たちのエピソードがたつぷりと詰まったオリジナル食パンを、全国の皆様にぜひ味わっていただきたいです！



① 香南市の特産品を使ったパンを考える

「ほんわか香る 酒粕食パン」

地元の香南ケフルテレビ制作番組「香南っ子映像倶楽部」の中で、子どもたちが商品開発を、地元企業とコラボして作り上げました！参加したメンバーは7人。考案した小学生は、「おじいちゃんの家で食べた酒粕まんじゅうが美味しかった。酒粕を使ったパンがあつてもいいんじゃないかと話していました。」  
酒粕は、最高級の純米吟醸酒から生み出されたものを使用。とてもフルーティな酒粕を食パンに使用しました！

酒粕食パンの  
紹介ページはこちら！

